

ART（生殖補助医療）を受ける患者へのキャンセル率の情報提供と自己決定の支援

ART 治療を実施する患者さまは治療に対する期待と不安を抱きつつ治療選択する必要があります。

以前の治療前のインフォームドコンセントでは、成功率（妊娠率）や流産率については情報提供していましたが、治療中断については可能性があることの説明のみ行っていました。実際治療を開始すると、採卵や胚移植まで到達せずに治療中断になってしまう症例もみられることから、キャンセル率の具体的な数値を示すことが治療開始や継続を決めるための重要な情報提供になるのではないかと考えました。

今回、年齢と ART キャンセル率の調査を行い、その結果をインフォームドコンセントの情報提供に追加し、自己決定の支援について考えました。

調査結果では、どの年代でもキャンセル事例はありましたが、年齢に比例してキャンセル率が高くなることが分かりました。

この情報提供によって治療前に過度な期待をもたないように意識付けすることができるのではないかと思います。

また実際、治療中断の経験をして、情報を分かっていることで、今後の治療回数や治療終了の目処をつけるための指標となり、現実的に考えるための支援に繋がるのではないかと考えました。精神的には失望感や苛立ちなどが少しは軽減できるのではないかと思います。今回は治療中断という患者にとって治療意欲が低下するような情報提供での発表でしたが、様々な情報提供を行う中で患者さま自身が導く意思決定を重視し、それを促す環境作りも大切であると考えました。